



寄り添い、鍛え、一人一人の児童を大切に作る学校

南帷子小学校長 竹内 久美子

桜吹雪が風に舞い、パンジーやチューリップが可愛く咲き誇っています。まるで、子どもたちの新年度のスタートをお祝いしているようです。

本日、4月7日に始業式・入学式を無事、行えることを大変嬉しく思います。学校中に子どもたちの声が戻ってきました。新年度のスタートです。「子どもたちの笑顔があふれる学校になるよう、張り切っていこう！」と職員も気合いが入ります。

私たち職員の令和3年度の合言葉は、「寄り添い、鍛え、一人一人の児童を大切に作る学校」です。

「寄り添い」…子どもの個性を受け入れ、悩みごとや心配ごとに耳を傾けます。

「鍛え」…得意を伸ばし、苦手なことを克服できるよう、粘り強く取り組ませます。

「一人一人の児童を大切に」…一人一人の子どもの頑張りを温かい言葉で認め、誰もが大切な子であることを実感できるようにします。



今年も、次の「あいうえお」を大切にしていきます。

- | | |
|-----------|-------------------------------|
| あ:「あいさつ」 | あいさつは、人と人をつなぐ魔法の言葉です。 |
| い:「いのち」 | 自分の命も、仲間の命も、家族の命も大切にしましょう。 |
| う:「うなずき」 | 話をうなずいて聞くことで賢くなります。気持ちが伝わります。 |
| え:「えがお」 | 自分も仲間も笑顔いっぱいだと、明るく嬉しくなります。 |
| お:「おもいやり」 | 思いやりは思いやりとなって返ってきます。 |

先日、みなかたサポーターの方々から、嬉しいFAXをいただきました。

- ・無事、卒業式・修了式を迎えられてよかったですね。先生方、ご苦労様でした。
- ・素敵な「版画カレンダー」をいただき、ありがとうございました。部屋に飾りました。
(昨年度末、感謝の気持ちを込めて、4年生が作成した「版画カレンダー」を送らせていただきました。)
- ・毎朝、横断歩道で見守りをしています。1年も経つと、ペコリと頭を下げたり小声で挨拶をしてくれたりするので、心の中で「よっしゃ〜！」と早起きも苦にならず、私の楽しみでもあり、元気になれるもとでした。ありがたいことです。今日(修了式)は、私にとっても、1年間無事で登校してくれた嬉しい日でもありました。

子どもたちが地域の方に支えられ、温かく見守られていたことを改めて感じる事ができました。また、子どもたちの明るい挨拶や笑顔が、地域の方に元気を与えているのだということも嬉しく思いました。より、気持ちの良い挨拶ができるよう指導していきたいと思えます。本年度も、保護者の皆様、地域の皆様と共に、南帷子の子どもたちを育てていきたいと思えます。ご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



【保護者の皆様へ】

本年度も、新型コロナウイルス感染症対策が続きます。子どもたちの命を守ることを第一優先にしながら、「正しい知識をもって、正しく恐れる」も大切にして、子どもたちのためにできる教育活動は、対策を万全にして実施していきたいと考えています。保護者の皆様には、いろいろな面でご理解ご協力いただくこととなりますが、どうぞ、よろしくお願いいたします。